

練習課題

課題：Hello

🔗 次のようなプログラムを作ってください。

以下の20文字を打鍵してエンター・キーを押下すると……。 (ここで、`go-practice` の部分は、適宜、あなたのプログラム・ファイル名に置き換えてください。以降同じ)

```
go-practice -p hello
```

🔗 2行目に、以下の5文字が出てください。

```
world
```

🔗 以降、以上の手続きを、以下のように表記することにします。

```
go-practice -p hello
## ## 応答
## world
```

課題：Interpreter

🔗 次のようなプログラムを作ってください。

以下の11文字を打鍵してエンター・キーを押下すると……。 (ここで、`go-practice` の部分は、適宜、あなたのプログラム・ファイル名に置き換えてください。以降同じ)

```
go-practice
```

🔗 2行目に、以下の4文字が出てください。(4文字目は半角空白です)

```
>>>
```

3行目に、以下の5文字を打鍵してエンター・キーを押下すると……。

```
hello
```

🔗 4行目に、以下の5文字が出てください。

```
world
```

🔗 以降、以上の手続きを、以下のように表記することにします。

```
>>> hello
## ## 応答
## world
```

[Ctrl] + [C] を打鍵するなどして、プログラムを強制終了させてください。

課題：Quit

さきほどの課題 [Interpret] の続きです。

以下のように、応答が返ってきたら、また入力に戻るようにしてください。

```
go-practice
>>> hello
world
>>> hello
world
>>> hello
world
```

🔗 繰り返しから抜けたいときは、[Ctrl] + [C] キーでプログラムを強制終了できるでしょう。

次に、quit と入力したら、繰り返しから抜けるようにしてください。

```
go-practice
>>> hello
world
>>> quit
```

課題：Undefined Command

🔗 次のようなプログラムを作ってください：

🔗 以下のコマンドを打鍵してください：

```
go-practice
## ## 応答
## >>>
```

🖱️ 以下のように打鍵してください。

```
>>> banana
## ## 応答
## Undefined `Banana` command.
```

課題： Engine Options

次のようなプログラムを作ってください：

🖱️ 以下のようにコマンドラインを入力すると：

```
go-practice
## ## 応答
## >>>
```

🖱️ 以下のように打鍵：

```
>>> get-option -n engine
## ## 応答
## Option not found.
## >>>
```

🖱️ 以下のように打鍵：

```
>>> set-option -n engine -v banana
## ## 応答
## [banana]
```

🖱️ 以下のように打鍵：

```
[banana] get-option -n engine
## ## 応答
## banana
## [banana]
```

🖱️ 以下のように打鍵：

```
[banana] quit
```

課題：Echo Proxy

次のようなプログラムを作ってください：

🔗 以下のようにコマンドラインを入力すると：

```
go-practice
```

このコマンドの実体は例えば 📄 `Z:/muzudho-github.com/muzudho/go-practice/go-practice.exe` といった実行ファイルだとします。

🔗 以下のように応答され：

```
>>>
```

🔗 以下のように打鍵：

```
>>> echo-proxy -f Z:/muzudho-github.com/muzudho/go-practice/go-practice.exe
```

つまり、実行ファイル自身へのファイルパスを `-f` 引数に渡しています。

🔗 以下のように応答され：

```
>>>
```

🔗 以下のように打鍵：

```
>>> hello
```

🔗 以下のように応答され：

```
world
>>>
```

🔗 以下のように打鍵：

```
>>> quit
```

🖱️ 以下のように応答され：

```
>>>
```

🖱️ 以下のように再び打鍵：

```
>>> quit
```